

二月二十日

常警日新聞

定価一円二角五分
 廣告料五十二字一円五分
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常警日新聞社
 印刷所 常警日新聞印刷部

七十翁の初發心

真繼雲山

(一)

朝鮮釜山に三島一平翁といふ筆者の舊友がある。その前半生は地球を何十遍もグルグル廻つたといふ甲種船長後半は高等女學校の經營、明けて七十歳の老人ではあるが元氣かくしやく壯者を凌ぐ、さき頃命の洗濯かたぐい東上して我が草庵新聞寺を叩いてくれた、一平翁曰く熊谷直實の先蹤をふみ出家して佛道に入りたと思ふそれについては蓮生坊舊縁の熊谷寺に參し、そこにて得度を受けたいと存するによつて一つ案内してくれとのことである、餘の儀ならば近來とんと世事に耳傾けぬ私であるも出家と聞いてはその志に嘆賞措かず早速在熊谷市の法友廣田小松君に案内方を依頼し、實は私も初見參ながら東道役となつて熊谷に向いた。廣田君の出迎へを受けて熊谷寺にいたり本堂に焼香結縁して往時の寶物などを親しく拜觀させてもらつた點數は必ずしも豊富ではないが法然上人の直流を汲みし蓮生坊終焉の地だけあつて上人の御染筆名号など頗る有り難く拜した。

一平翁こゝにて得度せんといふは甚だ奇特であつたがあいにく當山は淨土宗にして一平翁の安心は眞宗にありこの邊いさゝかの喰ひ違ひありて得度計畫は一先づ中止となり櫻花未だ開かざ熊谷堤を遠望して半日の

ノート

胡麻六と鹽四の割合で文せ
 炮烙でいりすり鉢ですつた所謂胡麻鹽を飯にふりかけて食べると消化を助ける

法談に心ゆくまで清興を傾けた。

歸京後一平翁は更に西に下り洛北花園に居を卜した。是非一度隱棲の閑居を訪ふてくれよとて來遊を勸説し來ること一再ならず果ては手紙に電報に西下を促す

二明日の献立

【朝】煮豆―黒豆 くわい
 【晝】焼肴―鮮魚 てりやき ひじきうま煮
 【晚】煮びたし―かき菜

こと矢の如し己んぬるかな我れを戀ひ慕ふものは二八の美人にはあらで七十古稀の白頭翁ならんをや、されど近來わが念慮またそのところにあらざ我れを待つ

切なるは佛縁の然らしむるなり、友情掬すべし況んや道念の催しなるをや萬難を排し往いてこの老翁を策勵せずんば我が淨業も甲斐や無からんとやおら輕からぬ御輿を擧げて西に下つた。雨の東海道に春色を賞しつゝ夜九時花園驛下一平翁驛頭に迎へ待つ、田畝を分けゆくこと數丁にして思ひしよりは立派なるその閑宅に着く。
 むかし親鸞聖人は九歳にして家を出て粟田口青蓮院にて夕べと散る櫻花を眺めつゝ得度を受けられたが今は七十歳にして一平翁は西本願寺に就き無事祝髮の素懷を遂げたりとて勿体らしき僧侶姿の記念寫眞を小生に示した。

斯界の權威!!!

大塚の靴

自生編上靴 六圓
 女學生半靴 五圓
 紳士靴 流行新形
 大塚製靴部
 電話七七番

御贈答に記念品に!!!!!! 漆器を!!!!!!
 諸景品に!!!!!!
共 は 誠實勉強 親切第一 在庫豊富
 是非御用命をドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ、ヌルモノミセ
 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
 各種産漆器 専門卸小賣 **共** 漆器店
 店員募集 十三四才位 小 店員 三十才迄位 外 交 員

小兒科。内科
 特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。
 平町 ねずみ坂
渡邊 醫院
 電話一六一番

吉田眼科病院
 平町屋町、電話六八番

平新川 十九
木村病院
 電話一六四番
 産婦人科 院長 木村寅次郎
 婦人科
 内臓外科 醫學士 内 木宗八
 整形外科
 器泌尿科

今度左の様な献立に寄りましてせいで、お氣に召します様に勉強致します。何卒御尊來御試食の程伏して御待ち申上げます。
 ひな鳥
 水 た き 御一人前金五十錢 二人前ヨリ
 鯛 茶 漬 御一人前金五十錢
 料理四品酒一本付 **金壹圓**
 ◇料理は毎日献立を替へて調理致します
 ◇御宴會出前は如何様にも御相談に應じます
割烹旅館 住吉屋本店
 電話一五九番

北海屋の
名産 磐城 米 糯
もちあは
 右發賣致しましたから何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します
 ●滋養豊富 味覺佳良ですから 平二丁目
 ●御病人の御見舞に最適品。
 ●價格低廉 萬人の御口に適しますから一般家庭の御贈答用に最適品。
北海屋製菓部
 電話三八八番

印刷御用命 總は命印刷日每警常
 番〇三六話電

月曜是非

少年の犯罪

最近平署管内に於いて子供等の犯罪が増加の傾向がある、誠に寒心に耐えぬ事であると思ふ。家庭に於いても、學校に於いても、警察に於いても殊に新聞紙上に於いても、少し度し難い者に直ぐ不良の二字を冠するが是れは甚だよくない事であると思ふ、勿論眞實の不良少年といふものはある、而し疑似的傾向の者に迄も不良の二字を冠し徒らにこの字を亂用する事は小さい子供の心から希望と光明とを奪ひ去つてしまつて自暴自棄の深淵に突き突す甚だ惨忍な處業である。

然して、不良少年を輩出せしむる事も所詮は今日の教育、或ひは社會上の欠陥に歸せねばならぬ場合が多いのであるから、少年の犯罪に關しては、われ人ともに責任を感ぜねばならぬ点が多々あると思ふ。

警察署等に於ても少年の犯罪者を遇するに、他の大人の犯罪者同様に是れを扱つて頭ごなしに叱り付けるといふ様な事は大いに考へ物ではあるまいか。

藝術家は大理石の中に神体佛像を見て一石塊を見ない、その様に人間の中に神姿佛性を直感して是れを人格に造りあげる事が教育の尊貴なる職能とする、子供を叱る場合は、佛の怒、神の怒でなければならぬ。

佛の怒りに、私といふものはない、犯罪摘發者はよろしく人間の内に神佛の姿を認める教育者の立場から是れを處置せねばならぬと思ふ。

間は悪事を働くものなりといふ前提の上に立つて少年犯罪者を取扱ふ事は角を矯めんとして牛を殺す結果になる。

強い子供は叱れば益々反抗して強情になり、はては性格的に悪化する、また弱い子供は萎縮して仕舞ふ、結局怒鳴り付ける事は有害無益で悪化せんとする兒童を導く處以でない、此際特に警察當局の一考を望む次第である。

昨日の豫算案

財源難で編成苦心

別に新規事業はない

平町役場にては既記の如く來年度豫算の大綱を豫め各議員に内示し

町當局の意嚮を明らかにして置く爲め昨日午後一時から議事室に議員を招集して豫算打合せを開いたが青沼町長の説明に依ると豫算額は卅二萬三千三百卅七圓で歳出經常部が廿七萬六千三百七十五圓、同臨時部四萬六千九百六十二圓といふ事になつて居る是れを前年度に比較すると一萬七千百卅六圓の増額であるが

増額の主なるもの

は水道費に於いて一般公設共用栓に計量器を備付ける爲め其他の五千七百五十四圓を始めとし商業學校の軍事教練充實に要する二千六百六十八圓、小學校學級増加の三千圓等また臨時部に於て第一、第二及び平商に御眞影奉安庫を建設すべき一千五百圓、自動

追加豫算に

豫算面に乗らぬ

第四校の建設

町會の大勢で

町會の大勢で追加豫算に豫算面に乗らぬ第四校の建設は、第四小學校建設に關しては別項豫算打合せで二三の意見を吐露する議員があつたが町當局の腹は焦眉の急に備ふべく第三校の増築を以つて押し切らざるを得ない、た曉に第四校建設に手を染

すべきものなく豫算面は極めて平凡であるが財源難の折柄相當町當局苦心の跡を思はしむる点が多いから此議案が正式に組上に乗つた場合、大した波瀾なしに呑みにされると見られるも第四校建設要求熾烈な折柄或ひは暗焦に乗り上げぬものとも限らない

綴驛構内に

檢炭機設置

鐵道納入炭を

嚴重検査する

鐵道省では年々常磐各炭礦より納入する石炭を検査する爲め來月上旬頃工費一萬圓を以て綴驛構内に檢炭機を設置するが同機は百五十噸の檢炭能力を有し日本内地では門司港より外にない優秀機であると

縣下卓球大會 九友運動具店主催第二回縣下卓球チーム大會は來る廿六日午前九時より丸友ホールに於いて開催される因に前年の優勝チームは福島電燈である

仙協チーム優勝

昨日の卓球大會で

榮えある三年連勝

既報平卓球協會主催第三回關東北卓球大會は昨十九日午前九時より平第三小學校に開催参加チーム廿四組にて選手七十餘名が力戦を演じ前年の優勝チーム仙臺協會選手は平稅務署、福島協會を斷然押へて榮ある三年連勝優勝者となり優勝旗は永久に仙臺協會の獲得する處となつたが準決勝よりの成績左の如くである

小學校に於て開かれる郡下各小學校長會の協議事項は左の如くである

たこの素發賣記念

當籤番號發表

校長會の

協議事項決定

既報來る三月十一日第一

- 一特等 八九号
 - 一壹等 貳六四号 參七八号
 - 一貳等 貳七九号 參六參号 四四〇号 四五八号
 - 一參等 五八号 壹〇七号 壹參五号 貳貳貳号
 - 參〇九号
 - 一四等 六号 四二二号 壹九壹号 壹九八号 貳參九号 參參五号 參六貳号 參參五号 參六貳号 四壹貳号 四四九号 四八貳号
- 一ヶ月以内に御引替下さい
平町新川町新藤屋隣
第一醬油直賣所

商友役員流會

平商友會に於ける母校創立二十週年記念に關する役員會は去る十八日流會となり來る二十三日再會する事になつた

給食狀況

視學官が視察

本縣視學官高井倭一氏は明日午前九時着にて來平各小學校に於ける給食狀況及び各中等學校を視察すると

鮫川水利

請負協議

鮫川普通水利組合では來る廿五日午前十時より團體事務所に於いて總會を開き八年度豫算並に鮫川堰復活に依る地元請負等に關する事項を協議する

多門第二師團長を

迎へて戦死者慰霊

郡下舉げての歓迎會と

一大講演會を開く計畫

平町役場並に在郷軍人聯合會では過般凱旋した多門第二師團長を招きその武功を讃えんと豫てより同師團に交渉中の處來月十五日頃來郡するとの内諾を得たので郡下舉げての一大歓迎會及び講演會を開かんと早くも準備に着手したが聯合會では當日多門師團長臨席の許に郡出身戦死者の慰霊祭を催すべく計畫中である

武名を

天下に走せた

藤井少佐來平

明夜丸友樓上に

武勇談を獅子吼

滿洲の野に赫々たる武名を輝かし今回度々凱旋した廿九聯隊第二大隊長藤井少佐は昨日公用に依つて來平されたを好機會となし在郷軍人分會其他主催で明廿一日午後六時からマルトモホールに同氏の講演會を開き血沸き肉躍る武勇談を傾聴する事となつた因に藤井少佐は本縣東白河郡の出身で軍人分會副隊長藤井少尉の令兄在滿中は藤井支隊の盛名を天下に走せて匪賊の心膽を寒からしめ數ふべき戦功枚舉に暇がない

夜警詰所を作る

寄附金を騙取する

胡摩澤に被害が多数

平町胡摩澤大内ヨシ(五)方へ去る十八日夜二人連の火防組員と稱する男が夜警詰所新築の寄附を強要し來り

に十餘件の同一被害ある事が判り目下全町内に亘つて調査中

世界館の觀客席で

病院を語る怪青年

共濟病院の窃盜犯捕る

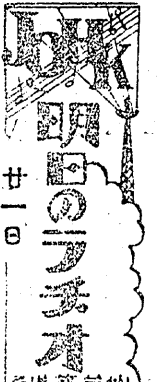
刑事の奇智

既報磐城共濟病院の窃盜犯人に就いては平署で嚴重搜查中昨十九日夜世界館で一名の青年が盛んに各地病院の模様を隣り客に話して居るのを警戒中の某刑事が不審に思ひ本署に引致取調る

廿圓の罪金に窮し

刑務所入りを志願

平檢事局にては年度未も接近したので目下未納罰金整理中であるが本日双葉郡野村大字加倉字馬場内九十七番第魚行商福井松之助(五)が出頭幾ら働いても罰金の調達が出來ないから刑務所に入り度といふので直ちに刑務所に留置したが右松之助は昨年五月賭博罪に



今晚は北西の風晴れ時々曇り明日は北西の風晴れ

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
兒童劇「黄金色の林檎」熊本蒼穹 コドモソークル
後八、〇〇 新小唄 鹽釜小唄 鹽釜町連中
後八、二五 落語「親子茶」

明日の部

前九、一〇 料理献立「柚

湯本温泉

湯源調査

愛湯會を組織

石城郡湯本町の川崎長光氏は此程愛湯會を組織し各炭礦の採掘に依つて荒れる湯源の復興策を講ずることとなり三月月上旬發會式を舉げ直に専門技師を招いて湯源の實地踏査を行ふと

奴祭りに

休憩所設置

石城郡渡邊村字釜戸部落諏訪神社の奴祭りは來る廿一日執行されるので同村では參拜者の爲め無料休憩所餘興等を設備すると

虎眼で

九名不合格

磐城中等學校にては去る十六日より三日間施行された本縣男子師範學校二部入學試験結果は左の如くである

第二校が調査

平第二小學校にては此程各保護者の職業を調査したが結果は左の如くである

馬目上等兵

遺骨が着く

旅順衛戍病院に於て死去した石城郡三坂村大字中三坂出身獨立守備隊上等兵馬目本二君の遺骨は本日郡山經由午後二時五十八分磐城線夏井驛に到着すると

コタツから

洗濯屋小火

平町町五洗濯業宮崎政治郎方より昨十九日午後十一時發火裏板より二階に燃え抜けんとするのを通行人が發見急を平署に知らせたので大事に至らず間もなく鎮火したが原因は炬燵の火からである

OBの卓球戦

球協會主催郡下OB個人卓球大會は來月十二日午前十時より常磐銀行平支店樓上

後七、三〇 講演の夕「國際聯盟脱と日本」東大教授法學博士神川彦松「國際法より見たる日本對聯盟の立場」早稻田大學教授法學博士信夫淳平「最近國際情勢と日本の濟界」前大藏參與官經濟學博士太田正孝
後九、〇〇 ピアノと管絃樂 東京ラヂオオーケストラ 指揮菅原明朗 ピアノ 獨奏高木東六
後九、三一 滿洲より

に催される尚ほ前年の優勝者は常磐銀行の川角豊太郎氏である

大浦校ピアノ

郡大浦小學校では建國祭記念として六百圓にてピアノを購入する事になつた

無試験で入學

磐城中等學校五年生四倉町鈴木信一君は成績優良の爲め本縣男子師範學校二部に無試験入學を許可されたと

平商軍事講演

平商業學校にては第二十九聯隊第二大隊長陸軍歩兵少佐藤井勇氏が將校現地戰術地理實査の然め來平したのを機として本日午後一時より講演會を催した

平裁判たより

去る十九日豫審終決し公判に廻された詐欺業務上横領犯人双葉郡長塚村元村長江間榮治(五)及び現助役安井實(五)の兩名は本日平刑務所を保釋出獄した

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百七十一席 千葉周作

周作曲者を懲す
千葉周作先生は前へ打倒れた、その曲者の背にズイト乗り兩膝で胴をグイト締めて左の手で首を押さへ

周「貴様は何者だ、物取りか但しは試し切か何方にしてもよくない奴だな」

周「平に御勘辨甚だ失禮」
周「何だ失禮だ、失禮等とはこんなものではない、危ない奴だ」

周「恐れ入りましたお見逃し下さい又御勘辨下さらぬとあらばこの首を打落して頂きます」
周「待て、貴様のやうな無法者を斬るはこの刀の穢れさりとて捻切るも手数がかゝる一體貴様はどういふ意趣をもつてこの様な事をいたしたか、狂人でも無さそうだが但しは金が欲しさにこのやうな事をしたか」と云ひつゝズイト引起し

周「まだ小僧だナ質の悪い奴だ俺に遺恨があるか怨みがあらば申せ」
周「なんの怨みもございません」
周「それでは物取りたナ遊里通ひをいたす費用に差支てこのやうな事をいたしたか定めし今まで多くの人を

んと存じ最前よりこれに忍び居りました」
周「それでは腕だめしの爲か俺に斬りつける前に人を斬つたか」
周「イエまだ一人も斬りません、往來の者もありましたが町人を斬るは好ましからざる事又老人を斬ればその子供等が歎くであらう若き者を斬りますれば親共が悲しむでございませうそれ等を考へますとたやすく人を斬ることはなりません、とこへあなたがお出でに



あやめ金子を掠奪いたしたであらう」
周「イエ今晩が初めてでございます」
周「さうか金が費るならば取らせるが遊里の費用にて

一刀の下に二つに致さんと後に忍びよりましたが奇態なことには乗すべき隙がございませぬ、其時あなたも石につまづき足が流れましたから斬れば」と存じまして」
周「ウーンそれで斬り込んだか」
周「大いに失敗を取りました平に御用捨」
周「貴様のやうな腕にてはまた人は斬れぬナ劍術も習ひしごとと思ふがまだ平凡にはならぬ、平凡とは形の出来た上で申す事だ、二三年學びしならばどうやら刀を抜く事も出来るであらうが以來は改心いたせ、この横道者め」

横面を平手でポカリと撃つた、その若侍はあまりの痛さにブル／＼とふるふる周「此處を何處だと思ひ居る將軍家のおはする江戸だぞ上様御膝元に居る武士は貴者如き未熟者に斬られる様な柔弱者は居らぬぞ、この馬鹿者め」
又頬を打つた
周「コレ馬鹿者そこにある傘を取れイヤ、貰つて来た傘は毀れてしまつた、蒲鉾に玉子焼は雨に打たれて困つてゐる、それを拾つて食べろ」
周「御馳走様でございます

は與へることはならぬ、家計のためとあらば五兩や十兩は悪んでもやる」
周「金は欲しくございませぬ」
周「それではなんでこんな事をした」
周「ハイ新刀の一刀を試さ

なりました、身の丈しすぐれ殊に肉付きもよろしく此奴を真二つに致したならば定めし愉快であらうと存じまして」
周「氣味の悪い奴だ、それで俺を狙つたか」
周「左様にございませぬ、只

其時彼の若侍は後を追掛けと暫くお待ち下さい」と呼止めた振返る

平町二丁目
三井タクシク
電話五六八番

科人婦。科外
院醫坂井
町田町平
番九五五話電

花柳科専門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

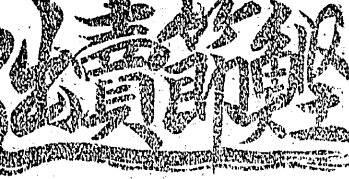
旭硝子株式會社製品
赤菱印
板ガラス
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)

イヤ！君！
いゝ冬服を求めたね
断然三三年型だよ
いやコレカネ！
例の……「ソレ」
正礼堂さ
六三四電通場車停目丁四平



御贈
答品

産名城磐



最優最良
日大最優
本生本
命平
代理店
盛三
榮一
番三